

やくもぬり えつ 八雲塗の絵付けをしてみよう！

1

やくもぬり めいじ
八雲塗は、明治時代に作りはじめられた、

でんとう うるしこうげい
松江の伝統の漆工芸だよ。

草花や鳥、竜など、いろいろなもようがかかれていますよ。

みんなも色をぬったり、好きなもようをかいたりしてみよう！

やくもぬり
八雲塗ってどうやって作るのかな？



かちょうずあしつきぼん
花鳥図脚付盆（明治時代、松江歴史館蔵）

うるし
漆を知っているかな？みそ汁のおわんなどにぬられる、黒や赤の絵の具のようなものだよ。ウルシの木の樹液じゆえきでできているんだ。

やくもぬり ぼん じゅうばこ
八雲塗は、お盆や重箱などの器に漆うるしで絵をかいた後、上からすき通った漆と お うるしをぬり重ねてさらに、そのぬり重ねた漆うるしをみかくことで、漆うるしの下にある絵が見えるようにするんだ。



かちょうずじゅうばこ
花鳥図重箱（大正時代、松江歴史館蔵）

まつえれきしかん

松江歴史館にはいろいろなもようの八雲塗があるよ。何が、かかっているかな？

やくもぬり

やくもぬり りゅう
八雲塗には、竜やほうおうなどの伝説上の生きものから、身近な花や鳥まで、さまざまなもようが描かれたよ。

赤と白のぼたんの花がかかっているね。花びらや葉っぱが細かく表現されているよ。ぼたんの花は、八雲塗によくかけられる花なんだ。



ぼたんもんたばこいれ
牡丹文煙草入（昭和時代、松江歴史館蔵）



かちょうず えがわりかいせきぜん
花鳥図絵替会席膳（大正4年、松江歴史館蔵）



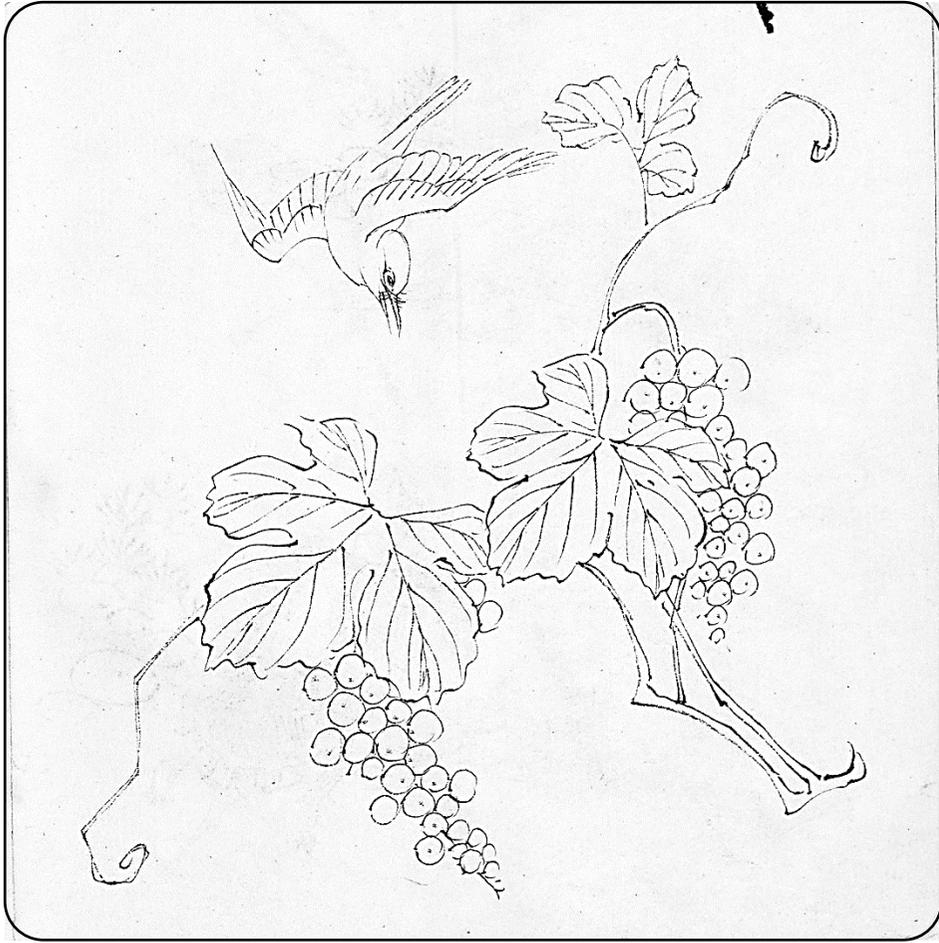
うんりゅうもんあしつきぼん
雲竜文脚付盆（明治時代、松江歴史館蔵）

新しい時代になると、いろいろなもようの、カラフルな八雲塗があらわ現れるよ。これは何の絵かな。



そうかもん えがわりざら
草花文絵替皿（昭和時代、松江歴史館蔵）

まずはお盆のもよりのぬり絵で絵付けの練習をしてみよう。好きな色をぬってね。



「ぶどうに小禽図」(小禽=小さい鳥)(伝 室田湖山筆、明治時代、松江歴史館蔵)



「桐にほうおう図」(桐=植物の名前、ほうおう=伝説上の鳥のような生きもの)
(伝 室田湖山筆、明治時代、松江歴史館蔵)

ぼん えつ
お盆の絵付けにチャレンジ！自分の好きなもようや色でデザインしてみよう！

